


事業者名	奈良県								
機器名	顕微レーザーラマン分光測定装置								
写真									
特徴・用途	炭素系材料やそれを用いた製品の品質評価・製造技術の開発・耐久性評価、半導体や精密電子部品材料の化学構造の解析・異物分析・残留応力評価などに用いる。								
設置場所	奈良県産業振興総合センター 管理棟1階 精密測定室								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成30年1月	2	0	0	0	0	0	2	2
	平成30年2月	15	0	4	3	10	3	5	15
	平成30年3月	13	0	3	5	18	3	4	15
	平成30年4月	10	0	2	1	3	3	4	10
	平成30年5月	9	0	2	4	16	1	4	11
	平成30年6月	5	0	1	2	12	2	5	10
	平成30年7月	6	0	2	2	8	0	6	10
	平成30年8月	5	0	3	4	20	1	5	13
	平成30年9月	1	0	4	0	0	0	3	7
	平成30年10月	5	0	2	4	20	0	4	10
	平成30年11月	4	0	0	4	12	0	10	14
	平成30年12月	5	0	3	3	10	2	14	22
	平成31年1月	11	0	2	4	13	7	13	26
	平成31年2月	5	0	2	1	2	3	8	14
	平成31年3月	4	0	3	3	3	1	6	13
利用者等の声	<p>①紫外レーザーの使用によって、ISO規格に代表される国際規格に準拠した評価ができるようになった。</p> <p>②繊維表面などの湾曲したサンプル表面の化学結合状態や微量な染料の分析ができるので、今後も使用したい。</p> <p>③サンプルに応じてレーザー出力や測定時間を設定しなければならないので、専門的な知識が必要である。</p> <p>④定期的にメーカーと連携した技術セミナーを開催して、測定ノウハウを指導して欲しい。</p> <p>⑤大気に晒せないアンプル瓶内の液体・医薬品についても測定できるようにして欲しい。</p>								
補助事業概要の広報資料	https://hojo.keirin-aurorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-042koho.pdf								